

デザイン経営を実践する新組織「イノベーションデザインセンター」を開設

株式会社 JVCケンウッドは、10月1日付で、新たな事業機会の創出・発掘に向けたインターフェースおよびサービス基盤の開発を実行し、デザイン経営を実践する新組織として、「イノベーションデザインセンター」を開設します。同センターは、当社が実践する価値創造プロセスにおいて、持続的な企業価値の向上に資する人的資本と知的資本を増強することにより、事業機会の創出を図り、そこから生み出される経済価値、社会価値を、新たな経営資本に循環させる一翼を担います。

<背景と目的>

当社は企業理念である「感動と安心を世界の人々へ」の実現に向けて、経営方針として「ものづくりを通じた新たな価値の創造」、「変化ある未来に立ち向かう企業風土の構築」、「イノベーションを実現する人材の育成と組織能力の強化」を掲げています。また、中期経営計画「VISION2025」では、「利益ある成長」と「グローバルでの社会的課題解決」を両輪とする「サステナビリティ経営の推進」を基本戦略の一つとし、「新たな価値の創造」を実現するために「顧客起点のデザイン経営を強化」も推進しています。

当社では、各事業部門のアイデアから生じる摩擦こそ、「新しい価値」を生み出す源泉であり、そうした“摩擦”と、技術などのリソースを生かすことによりイノベーションが実現できると考えます。この考えに基づき、「イノベーションデザインセンター」は、「顧客起点のデザイン経営」を実践する組織として、既存の組織の枠にとらわれない多様な人材が集まり、当社技術と顧客起点のマーケティングを基に“稼げるビジネス（利益を確保できるビジネス）”の仮説を立て、概念検証（PoC：Proof of Concept）することにより、「新たな価値」たるイノベーションの創出を図ります。また、持続的な企業価値の向上に向けて、当センターを担う「変化ある未来に立ち向かう」人材を育成するとともに、「社会的課題解決」に貢献する、サステナブルな商品・サービスを開発する基盤づくりにも取り組んでいきます。

<「イノベーションデザインセンター」の役割>

1. 新たな事業機会を仮説検証し、“稼げる新ビジネス”の創出を支援

当社が保有する技術や知的財産などのリソースと、市場・顧客起点に特化したマーケティングを基に、新たな事業機会の仮説を立て、概念検証（PoC：Proof of Concept）を実行することにより、その実効性・実現性を明確化にし、“稼げる新ビジネス”の創出を支援します。

2. 必要となる人的資本の増強を図り、イノベーションを実現できる人材の育成を推進

当センターの役割を担い、イノベーションを実現できる、マルチなスキルや才能を備えるとともに、持続的な企業価値の向上を見据えて多様性を尊重し、特異性のある人材の育成を推進。必要となる人的資本の増強を図ります。

3. オープンイノベーションを実践し、サステナブルな商品・サービスを立ち上げる基盤づくりを実施

当センターは、事業を通じて得た人材・知財・機会は積極的に社外開示し、社外パートナーとの新たな共創環境の醸成を支援していきます。具体的には、中期経営計画「VISION2025」の基本戦略である「サステナビリティ経営の推進」と連動し、オープンイノベーションやコラボレーションなど、産学官・異業種などと協業・共創・連携する機会を増やし、サステナブルな商品やサービスを立ち上げるための基盤づくりを実施していきます。